

# 令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：34001  
学校名：札幌市立幌東中学校

改訂のポイント		全国学力状況調査や学力テスト等の結果を踏まえ、子どもの「学ぶ力」のさらなる向上を目指す。基礎・基本を定着するために、反復学習の充実と、見通しをもった計画的な家庭学習の習慣化。加えて、協働的な学習場面を設け、思考力・判断力・表現力の向上を目指す。		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆基礎的、基本的学習を理解するために、自分にとって最善の方法を模索しながら、計画性をもって習慣的に学習に取り組める生徒 ☆自ら課題を見つけ、積極的に学び、自分の考えを表現しながら課題を解決できる生徒		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> ・授業冒頭での単元目標の明確化。授業後の自己評価記録等による理解度の自己確認。 ・「わかる・できる・楽しい授業」を具現化するための授業の工夫	<b>【成果】</b> ・「分からないことは、自分で調べる」では、74%肯定率である。 ・「授業中分からないことは、友達や先生に聞く」では、79%肯定率である。	<b>【課題】</b> ◇「学ぶ意欲」に関する質問では、昨年度より全体的に、肯定率が僅かに高くなっているが、今後も改善を行っていく。
	思考力・判断力・表現力等	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> ・ペア・グループを活用した積極的な授業参加形態、協働的、課題探究的な学習活動を取り入れ、生徒が自ら考え、判断し、表現する学習活動を推進する。	<b>【成果】</b> ・「説明、意見を終わりまで聞いている。」85%、「意見を聞いて、それを参考に自分の考えを見直す。」77%、「習ったこと、知っていることを使って、自分で考える。」89%と昨年より高い肯定率を示した。	<b>【課題】</b> ◇「発言前に話の順序を考える。」63%、「意見を進んで発言している。」34%と肯定率が低かった。「主体的、対話的で深い学び」への取組の中で、働きかけを意識する必要がある。
	基礎的・基本的な知識及び技能	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> ・反復学習を充実させ、基礎基本の定着を目指す。 ・家庭学習の習慣化を目指し、テスト計画表等を活用し、状況の把握に努める。	<b>【成果】</b> ・「同じ間違いを繰り返さないように気をつける。」82%である。 ・「分からないことを分かるまで努力する。」73%である。	<b>【課題】</b> ◇「新しく習ったことは、繰り返し練習。」52%、「計画を立てて勉強している。」38%と低く、家庭学習等の習慣化や反復学習に課題が残る。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	<b>【取組の共有】</b> 学習意欲の向上と家庭での学習習慣の確立。基礎・基本を定着させるための学習習慣形成、さらに自分の思いや考えを積極的に発言する力		
	具体的な改善策（取組）	○「主体的、対話的で深い学び」を目指した校内研修の充実。 ○協働的な活動を生かした体験的な活動や課題探究的な学習を取り入れ、自分の考えを相手に伝える授業の工夫改善の継続。 ○調査やアンケート、テストをもとに状況を客観的に把握・分析し、効果的な学習活動の実現。 ○教育相談・アンケート等での家庭学習の実態把握をもとに、習慣化に向けた指導と学習方法への助言。生活リズムチェックシートの活用。 ○家庭学習習慣確立へ向けて、各家庭への働きかけ。「学びのススメ」活用等、保護者との連携依頼の発信。 ○各教科の特色を生かした「わかる、できる、楽しい授業」の工夫。低位生徒への具体的な働きかけ。 ○自尊感情・自己肯定感、自己有用感、人間関係形成能力を育む道徳、総合的な学習の充実。		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○自己評価記録等、自己評価の活用                      ○全国学力学習状況調査、学力テスト等の分析・活用 ○教育相談による情報収集と、学習指導の充実		